

## 5月末開設予定「災害時緊急避難シェルター」開設のお知らせ

### 能登半島地震における避難者への看護提供を目指す新たな取り組み

能登半島を襲った地震により、奥能登地域では多くの方々が避難生活を余儀なくされています。私たち笹川保健財団（東京都港区、会長 喜多悦子）は、日本財団在宅看護センター「リベルタ金沢」（石川県金沢市、代表 池川淳子）と協力し、今なお1.5次避難所に残っている方々を支援するため、仮設住宅や福祉施設への入居までの期間、適切な支援を提供する施設「災害時緊急避難シェルター」を設置することにしました。

災害時緊急避難シェルターでは、避難者の方々が安心して過ごせるよう、最低限の生活環境を提供し、看護師や医療系スタッフが24時間体制で対応します。

また、「リベルタ金沢」では、4月から輪島市において訪問看護サテライト（出張所）として「リベルタ能登」を開設し、地域の訪問看護活動に取り組んでいます。

こうした取り組みにより、避難者の方々が安全かつ安心して過ごせる環境を提供するとともに、地域の復興に向けた一助となることを期待しています。

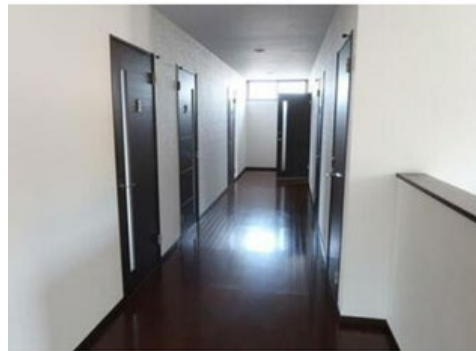
### 災害時緊急避難シェルター

**開設時期**：2024年5月末予定（改修工事終了後）

**場所**：石川県金沢市田上の里2丁目

**施設**：木造2階建て / 15～20人程度入居可（個室ではありません）

**運営**：日本財団在宅看護センター「リベルタ金沢」（合同会社 Esterカンパニー）



#### 【問い合わせ先】

笹川保健財団 事業部（地域保健）

TEL:03-6229-5377

E-mail:community\_health@shf.or.jp